



春夏秋冬

2018
vol.14
季刊発行

eco 情報



「障子」

平安時代から現代まで和風住宅に欠かせない建具。

吸湿性や断熱性が高く日光を柔らかく拡散させることで、自然な明るさを作り出して人に心地よさを与えてくれる。

ガラスと障子紙の間の空気層が究極の断熱材の役目を担う。

ワンジャ サイカン 王家菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.014「トマト麻婆豆腐」

材料	豆腐	200g	豆板醤	小さじ1
	豚ひき肉	50g	甜麵醬	大さじ1
	トマト	1ケ	中華ペースト	少々
	ネギ	1本	お酒	大さじ1
	生姜	小1	片栗粉	少々
	にんにく	小1	ごま油	少々



夏の猛暑で疲れた胃にやさしいトマトと豆腐、トマトの酸味と麻婆豆腐がよく合う一品

作り方

- 1、ネギ、生姜、にんにくは、みじん切りにする
- 2、油で生姜、にんにく、豆板醤を炒めたら豚ひき肉を加えじっくり炒める。
- 3、お酒、甜麵醬、中華ペースト、水を加え、カットしたトマト、豆腐を入れ煮る
- 4、ネギを加え水溶き片栗粉でとろみをつけたらごま油を回し入れる

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

●web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

❄️冬に備えて❄️

◆温度差があるということが絶対的に良くない：

夏、熱中症で亡くなる方は300人に対して、家の浴室では年間17,000人が命を失っています。欧米では浴室に暖房が入っているのが一般。これだけで浴室の死亡事故を防げます。

◆家は危険な場所：

寝室の布団の中が温かくても、室温が低いと冷たい空気を口から吸いこむため喘息を発症する高齢者が増えています。

夜中トイレに何回行きますか？廊下とトイレの中は寒いですね。

対策として廊下の窓にカーテンを取り付けたいかがでしょうか。壁内や天井に断熱材を入れたいかがでしょうか。室温を18℃に保つことで健康な家になります。

カーテンや暖房機、室内にプラマードUなど組み合わせることで冬の事故を防ぎましょう。



イベント報告

夏の体感フェア2018

7月28日(土) / 29日(日)に当社体感ハウスで行われました、夏の体感フェアへご来場いただきありがとうございました。

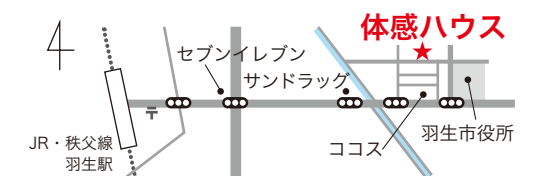


同時開催の
体にやさしい
薬膳教室
の様子



※写真はイメージです

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

三代目通信

「祖父母のダイヤモンド婚のお祝いの席」

会場は、じいちゃんが45年も前から仕事で関わって

いる岩槻の四季の懐石「桜茶屋」。

昨年末に桜茶屋別館も竣工、そこでの食事に、じいちゃんの自慢の尽きないこと。

私も打ち合わせで何回か立ち会った。これってひょっとして3代合作！



report 日本建築

いつもは小山建設で建てられた住まいを訪問し、今の住み心地等をご紹介しますコーナーですが、今回は「中国建築」をご紹介します。

「日本建築」

日本建築の源流は京都・奈良にあります。中国から仏教伝来と共に寺院建築として木組み、瓦葺き、高層の技術が入ってきました。

今回30年ぶりに京都・奈良を訪ねて、中国の寺院建築が石組みと木組みの組み合わせなのに対し日本の寺院建築は基礎以外は全て木組みで造られていることを改めて、きずかされました。



写真左：東大寺大仏殿 写真右：大仏様

東大寺大仏殿を観ていると国家の建設と一般大衆をここに集結させる、エネルギーを感じ取ることができます。現代の我々が見ても感嘆するのですから1200年前の人の気持ちはどんな感じだったのでしょうか。



写真左：薬師寺 金堂
写真右：薬師寺 西塔



薬師寺は他の寺院建築が風化されたままの姿なのに対し当時の姿を再現している珍しいお寺です。わかっている、その色合いにびっくりします。中国には、この手の当時再現が多いのですが現代人の我々には風化された色合いのほうが、しっくりします。



金閣寺は足利時代ですから近代に近いのですが、インスタ栄えの影響か参観者の8割が外人さんでした。ここのおみくじボックスは4台ならんでいて日本語、英語、中国語、ハングルの4種類のおみくじが用意されていました。



仁和寺の仁王門、今回の寺院の門の中で断トツのスケール感、明治維新まで皇子皇孫が門跡となっていたことからも格式が感じられる。



写真上：金閣寺
写真中：仁和寺 二王門
写真下：興福寺 東金堂

興福寺金堂、薬師如来像を本尊として祭られている、派手さはないが品にあふれている。

今回改めて、京都・奈良の寺院は国家の安泰と国民救済のために造られていて、重みの違いを感じさせられました。

地元・羽生市での取り組み

「新鮮朝市」

5年前にNPO法人まちおこし・はにゅう市場で、羽生市の中でも過疎化が進む村君地区の住民を対象に意識調査を行ったところ、少子高齢化と地域インフラに対する不満が多くみられた。ついでに羽生市の中心部の相生町で同様のアンケートを行ったところ、少子高齢化の数値は村君よりも悪い結果が出た。ともに子供たちが進学や就職を機に地元を離れてしまう。かつては豊かではないけれど市内で職人や小売業、工場等そこそこの勤め先もあったのだろう。



そこで、この二地区で何かできないだろうか話し合いを続け、村君の人が不便を感じていたインフラ、でもインフラが悪いから雑木林と自然に恵まれた風景がある恵まれた村君をアピールしようと観光マップを作成し、続いて二地区の子供たちを対象に農業体験として田植えと稲刈りを行った。いがいにも村君の子供たちも親が機械で田植えや稲刈りを行うため経験者は少なかった。4年前から月二回のペースで村君の野菜を相生町公会堂で販売している。

新鮮朝市を通して村君の後継者がいない実情や相生町でも野菜やお米を販売しても一人や二人家族が多いため野菜も単品だったり、お米も1kgか2kgで袋詰めして貰っている。それでも市場価格の半値ぐらいで出してくれ、長雨や猛暑と厳しい環境の中、根気よく付き合ってくれました。これからも地域が埋もれないためにも、力を合わせて頑張りたいとおもいます。

匠の仲間たち

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介しますコーナーです。



▶ file no.014
株) モビリアなかじま
中島政行さん

PROFILE
生まれ：昭和23年
出身：加須市

学校を出て自転車やエスカレーターのチェーンメーカーに就職。輸出担当を4年、会社で物を売ったことを覚えた。当時は珍しい週休2日制だったので、兄が家具メーカーに勤めていた縁で家具をカタログ販売で売ったところ、良い収入になったので自信をつけ独立、実家の一角で婚嫁家具の専門店をオープン。3年後にインテリア、クロス部門も併設。当時からカーテンが一番関心があったので、思い切ってカーテン専門店に、布地は産地直接仕入れ、欧米から直輸入し自社の縫製工場加工、自社のクリーニング工場メンテナンスの一貫システム。カーテンのゆりかごから墓場までをコンセプトに営業しています。二代目は東京世田谷で独立開業しています。